

# きぼう



〒950-2171

新潟県新潟市西区五十嵐三の町 9952 番地

TEL 025-262-2075 Fax 025-262-2558

E-mail [ngt045690@pref.niigata.lg.jp](mailto:ngt045690@pref.niigata.lg.jp)

## 巻頭言

他者と生きていくこと

新潟学園 指導課 主査 小林 諭

中央福祉相談センターから異動してきました小林と申します。新潟学園の子どもたちが課題や目標に向かう姿に接し、その評価の一つであるコミュニケーションとは何だろうか、自分自身考えております。

コミュニケーションというものは、交換することで成り立ちます。交換するものは言葉、物、また見えないもの、つまり思いや感情などです。交換するためには相手が必要ですが、そのためには独善的ではなく、相手に合わせる力が求められます。それはただ単に相手の意に添うように行動することではなく、相手の考え方を理解しつつ、相手と交換できる適切な何かを送り届ける力、それがコミュニケーション力であると思います。

そのコミュニケーション力を阻害するものとして、精神科医の春日武彦先生は「プライド、こだわり、被害妄想」を上げています。プライドやこだわりはモチベーションともなるものですから、それらそのものは有害ではありませんが、扱い方ひとつで有害となり得ます。人間は今までの経験で培ったプライドやこだわりという自分の物差しで相手や世界を理解しようとしませんが、未経験のものはその物差しで測れないことの連続です。それでもその物差しにこだわり続けられれば、到底理解することはできず、理解不能として考えることをやめてしまう。そして被害妄想は、自分は被害者だと他者へ声高に叫ぶことで自分を決して責められない立場に置き、他責的な態度に終始してしまいます。プライドもこだわりも被害妄想も「自分分はこうだから」というものに居付き、他者へ思いを馳せる態度がない。それではコミュニケーションという交換する力は高まりません。ではコミュニケーション力を高めるためにはどうしたら良いのか。先生は「こだわらない、いつもニコニコしている、いじけない」と言っています。

さて、私はどうかと問われれば、「ご想像通り、理想には程遠い状態です。かたや新潟学園の子どもたち、悪戦苦闘しながら日々自分の行動を振り返り、相手に適切な贈り物ができるようにと考え、実践しています。そのプロセスそのものが成長につながる、それを実感できる時が必ず来ると確信しています。子どもたち、君たちは輝いているぞ！

今年度も、私を含め多くの職員が新潟学園へ異動し、子どもたちを支える職員集団の一員となりましたことに、改めて緊張感と責任感を覚えております。私たちも自分を振り返り、先輩職員や子どもたちから教えてもらいながら、子どもたちの良きメンターとなれるように精進していきます。皆様におかれましては、昨年度までと同様、今年度も変わらないご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 新任職員紹介

### 本間 国仁 教諭

この度、北区の南浜中学校より参りました。新しい環境で不安も多いですが、まずは子どもたちと真摯に向き合っていきたいと思えます。そして、それぞれの目標に向かって活動している児童生徒たちに寄り添い、支えていけるように、私自身も努力していきたいと思えます。よろしくお願ひいたします。

### 河井 みどり 事務員

西蒲区の潟東中学校より参りました。新潟学園に勤務するのは二度目になります。いろんな行事に参加することも楽しみですし、新潟学園の子どもたちが、安心して安全な学校生活を送れるよう努めたいです。よろしくお願ひいたします。

### 小林 研 主査

新潟県交通政策局交通政策課から異動して参りました。新潟学園での勤務は初めてであり、不安と緊張の連続ですが、「チーム学園」の一員として、しっかりと新潟学園を支えていけるよう頑張りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

### 福井 俊希 主任

新潟県福祉保健部障害福祉課から異動して参りました。過去に児童相談所の職員として何度も足を運んだ新潟学園ですが、新潟学園の職員としての勤務は初めてになります。学園での生活をとおして様々な経験を子どもたちと一緒に積み重ねながら、ともに成長していけるように日々取り組んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

### 塩谷 美樹 主任

上越児童・障害者相談センターから異動して参りました。新潟学園に勤務するのは初めてで、緊張や不安もありましたが、日々、元氣いっぱいの子どもたちからパワーをもらっています。日常生活や行事で共に活動しながら、個々の目標に向かって取り組む子どもたちの力になりたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

### 中澤 知幸 専門員

三度目の学園勤務ですが、今回は建物が新しくなっていて、グラウンド・プールの位置も変わり、職員数も多く、浦島太郎状態です。子どもたちも何か違い、職員集団も何か違います。根本地蔵だけは変わらずに、学園を見守っています。経験を活かせる状況ではなく、新採用状態です。右も左も多少わかりますが、よろしくお願ひいたします。

### 桐山 智帆 指導員

コロニーにいがた白岩の里から異動して参りました。学園での生活は日々の授業だけでなく、多くの行事や部活動、ヤギの飼育など様々なことを経験できる機会があります。それらを通じて子どもたちと楽しいことや苦しいことを一緒に経験し、たくさんの感情を共有していきたいと思ひています。子どもたちが自分の目指す姿に一步でも近づけるようサポートしていきます。よろしくお願ひいたします。

